

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 551

事務事業名	公共施設予約システム管理事業
-------	----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	文化振興課		
課長名	三ヶ島 恵利子	内線	375
担当者名	今村 明	内線	372

基本目標		持続可能な行財政運営と市民協働の推進
政策	060101	効率的で開かれた行政運営の推進
施策		効率的な行政運営の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業コード	280000	公共施設予約システム管理事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	施設利用者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	公共施設利用者が、インターネットによる予約システムを利用することによって、時間や場所に関係なく予約ができるようにする。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	公共施設予約システムの管理・運営		
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 年度	実施方法	委託
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 登録者数	計画値	11,000	12,000	13,000	14,000	
		実績値	11,398	12,390	13,467		
		達成度	%	103.6%	103.3%	103.6%	
活動指標	② 対象施設数	計画値	17	17	19	19	
		実績値	17	19	19		
		達成度	%	100.0%	111.8%	100.0%	
成果指標	① インターネットシステムによる施設利用者件数	計画値	18,000	18,500	18,500	18,500	
		実績値	15,964	16,531	16,871.0		
		達成度	%	88.7%	89.4%	91.2%	
	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,048	2,106	2,106	2,106	2,106	2,106	2,106	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	2,048	2,106	2,106	2,106	2,106	2,106	2,106	
② 人件費(千円)	397	151	212	145	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.05	0.02	0.03	0.02	システム管理	システム管理	システム管理	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	2,445	2,257	2,318	2,251				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	利用者に対して安定したシステムを提供し、施設利用の利便性の向上につながっている。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	インターネットを利用したサービスのニーズはますます増加しており、今後もシステムを提供していく必要がある。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市の施設の利用申請に係るものであり、市が行う事業である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	目標値には達していないが、利用件数は多く、高い成果が出ている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民の利用度も高く、施策貢献度は高い。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	システム使用料のみであり、削減することはできない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	今後とも、安定的なシステムを提供していく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	便利で使いやすいシステムを提供していくことにより、施設の利便性が高まる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。